

小委員会の調査報告書

| | | |
|-----------------|--|---------------------|
| 教科名 | 外国語 | 委員長名 <u>三野宮 誠 一</u> |
| 調査研究の経過 | <p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、外国語小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(水)から7月21日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月22日(月)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を行った。</p> <p style="padding-left: 2em;">なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書出版、啓林館の7者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p style="padding-left: 2em;">調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・配列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p> | |
| 調査研究に当たった際の配慮事項 | <p style="padding-left: 2em;">次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱い内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・配列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・配列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p style="padding-left: 2em;">上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p> | |
| 少数意見その他 | | |

様式2

| 教科名 | | 外国語 | | 教科名 | | 外国語 | |
|-------------|--|-----|------|--|----|------|------|
| 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 |
| 東京書籍 | NEW HORIZON Elementary | 1 | 開隆堂 | Junior Sunshine | 2 | | |
| 取扱内容 | <p>○学習指導要領(外国語科)に示された目標に則り、すべての項目において指導に適切な教材およびアルファベットの文字を扱っている。また、小学校学習指導要領(総則)に記された、「教育内容の主な改善事項」を受けて、言語能力を確実に向上できるように、言語活動を充実させている。</p> <p>○音声から文字への流れを重視しつつ、各単元において、「聞く→話す(やり取り・発表)→読む・書く」が、技能別に強化されるための一定の流れがあり、これを積み上げることで基礎的な知識・技能が習得できる。豊富なチャンツは慣れ親しみや振り返りに有効である。</p> <p>○読み書きの指導において、文字を教え込むための機械的なドリル学習ではなく、必然性のある楽しい学び合いを通じて他者や自分を大切にコミュニケーション活動につなげる工夫がなされている。</p> <p>○児童が巻末のコミュニケーションカードなどを作成しながら、自分が選んだ英語を使って行う活動が豊富で、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図ることが可能となる。</p> | | | <p>○学習指導要領に示された目標と内容に沿って、外国語を使って豊かなコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を目指し、①意味のある生きたコミュニケーション ②「読むこと」「書くこと」の基礎を養う ③児童の日常生活に密着した題材 が設定されている。</p> <p>○「話す」「聞く」力を伸ばすために、覚えるだけにならない、自然な場面の中で必要な表現を使うように配慮がなされている。また、児童がやり取りしたくなる活動を設定することで、学んだ英語表現や語彙を使いコミュニケーションをしている実感をもたせようとしている。</p> <p>○音と文字を結びつける活動から始まり、文の意味を推測したり英語のルールに沿って書き写したりする活動を通して、「読む」「書く」の基礎を体系的に養うことを目指している。</p> <p>○各単元にペアワーク、グループワークが設定されており、友だち同士で協力し合い、学習に取り組むことができる。また、単元の最初にその単元で目指すモデルを聞くことで、児童の学習動機を喚起し、主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。</p> | | | |
| 内容構成・配列・分量等 | <p>○全Unitが、「①音で表現・語彙に出会う[聞く]→②音を使って会話に慣れる[話す]→③コミュニケーションを楽しむ[技能統合]→④世界を広げる[探究活動]」の見開き4パートで構成されているので、指導の流れが把握しやすくなっている。</p> <p>○言語活動、題材内容、言語材料は、既習事項を新学習事項に関連させ、ゆるやかに難易度が上がるため、児童の発達段階に適合して無理なく児童の自己肯定感を高める工夫がなされている。</p> <p>○紙面が上中下に三分割され、上(Let's Sing/Let's Chant)は単元を通して、中はまとまりのある45分授業用、下(Small Talk/Word Link/Sounds and Letters)は45分を支える短時間用を想定したレイアウトになっている。これらを組み合わせ、各学年70時間の指導時数のカリキュラムをマネジメントするための配慮がなされている。</p> <p>○分量は、5・6年とも総ユニット数が8ユニット、総ページ数が96ページとなっている。</p> | | | <p>○5年では「英語で広がる世界」、6年では「世界の中の自分」というテーマに沿って内容が配列されており、身近なことから世界のことに視野を広げながら学習を進めることができる。また、それまでに学習してきた内容をスパイラルに学習できる工夫がされており、重要な表現は自然に繰り返し学習できるように配慮されている。発展的な学習に向けては、5・6年生ともに「チャレンジ」コーナーが、6年生の巻末には「中学校につなげよう」が設けられている。</p> <p>○基本的に1ページ1時間配当というつくりになっており、1時間の活動が過量にならないように配慮されている。また、活動を細分化し、短時間学習にも対応できるつくりとなっている。</p> <p>○分量は、5年が9ユニット・119ページ、6年が11ユニット・127ページとなっている。</p> | | | |
| 使用上の配慮等 | <p>○各単元(Unit)の導入では、児童にとって身近な事柄を題材として取り上げ、多くの児童が自分のこととして自らの学校生活と重ね合わせながら学習に取り組むことができ、学習への関心・意欲を高めている。単元末には、児童が外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら自ら読み進めることができるように、異文化情報が用意されている。</p> <p>○5年までに十分に養われた英語の音声の素地を発達段階に応じて文字と結びつけ、単語を見て発音を予想しようとする練習を適宜行うことができる。QRコードで習慣的に学ぶことができ、中学校での学習の準備を自ら行うことができる。</p> <p>○各単元内は、学習要素がすべて定位置に示され、特別支援教育への配慮がなされている。書体は児童がそのまま書き写して学べる新ユニバーサルデザイン書体を使用し、4線ノートの幅や線種、基線の色使いにも注意が払われている。</p> | | | <p>○5年生は身の回りの題材から扱い、6年生になるにつれて世界に目を向けた題材に広がっていき、多様な題材が扱われている。題材の配列は児童の日常生活に合っており、児童の興味・関心が自然と高まるつくりになっている。</p> <p>○全課にわたり単元の構成が問題解決的な学習ができるようになっている。冒頭のリスニング活動で単元のゴールを見通し、課末のLet's Try に向けて必要な学力を身に付けながら学習を進められるようになっている。QRコードやURLが配され、音声や動画、ゲームのコンテンツを学校でも家庭でも利用することができる。</p> <p>○コーナーごとに色を変え、一目でどのコーナーかが判別できるよう工夫されている。児童が読み書きするページでは鉛筆で書きやすく、消しゴムで消しやすい紙が採用されている。</p> | | | |
| その他 | <p>○英語学習に不可欠な音声や映像を使った学び方のために、様々なコンテンツがQRコードやURLで提示されている。世界の子どもたちとメインキャラクターたちが英語でやり取りする映像や、ペア・グループワークの進め方や指導の手順、発表のモデル映像、外国人インタビュー、海外映像、歌やチャンツ、発音の口形動画などがある。音声と映像を環境や必要に応じて活用できる。</p> | | | <p>○我が国と郷土を尊重するとともに、他国も尊重し、国際社会に寄与する意識を育てたり、児童が自分の将来について考えたりすることができる構成となっている。5年生では「自分の町紹介」などの活動が、6年生では「20年後の同窓会」で職業になりきる活動が設定されている。</p> | | | |

様式2

| 教科名 | | 外国語 | | 教科名 | | 外国語 | |
|-------------|---|---|------|-----------|----|------|-----------|
| 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 |
| 学校図書 | JUNIOR TOTAL ENGLISH | 3 | 三省堂 | CROWN Jr. | 4 | 三省堂 | CROWN Jr. |
| 取扱内容 | <p>○「聞くこと」については、「自己紹介・持っているもの」など身近で簡単な事柄について、表すイラスト等と結びつける活動(5年)、中学校生活や部活動など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「読むこと」については、活字体で書かれた文字を親て、どの文字であるか、その文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動(5年)、「読むこと」については、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を中学校生活に向けた思いを発表する文等の中から識別する活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「話すこと[やりとり]」については、好きな教科を訪ねたり、相手に指示詞をして道を案内し、それに応じたりする活動(5年)、友達を紹介したり、入りたい部活動をたずねたりして、短い会話をする活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「話すこと[発表]」については、自己紹介や今の気分など日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動(5年)、好きな人物や中学校生活に関することなど身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどを話す活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「書くこと」については、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字の大文字・小文字を書く活動(5年生)、中学校生活に向けた思いなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動(6年生)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの対応については、学習課題を設定し見通しを持たせるとともに誕生日をたずねたり、誕生日に欲しいものをたずねたりする活動(5年)、道をたずねたり、観光で行くとしたらどこに行きたいかをたずねあつたりする活動(6年)が取り上げられている。</p> | <p>○「聞くこと」については、持ち物や出来ることなど身近で簡単な事柄について、それを表すイラスト等を結びつける活動(5年)、日本の文化ややってみたい活動など、身近で簡単な事柄について必要な情報を得る活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「読むこと」については、活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるか、その文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動(5年)、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、本の表紙などの中から識別する活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「話すこと[やりとり]」については、自分の持っているものを伝えたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動(5年)、正月やお祭りについて伝えたり、自分のプロフィールを伝えたりして、短い会話をする活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「話すこと[発表]」については、自己紹介やおすすめの場所など、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動(5年)、日本の行事や夏休みの思い出に関する事など、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「書くこと」については、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字の大文字・小文字を書いて、ローマ字による名前の表記や単語を書く活動(5年)、職業などについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動(6年)を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> | | | | | |
| 内容構成・配列・分量等 | <p>○構成は、自己紹介から物の数や値段、道案内、注文など、自分と周りの人・地域へと繋がり、興味や創造性をもちながら学習できる(5年)、祭り、自分の町、道案内、将来の夢など、自分と周りの人・地域へと繋がり、興味を持ちまわりへ発信していける(6年)ように構成されている。</p> <p>○配列については、聴く・話すの音声インプットを多くし、繰り返しと気づきの中から英語を理解できるようにしている。身につける表現、アルファベット・単語の読み・書きも繰り返しを多くしている。</p> <p>○分量は、5年生・6年生とも総ユニット数が10ユニット、総ページ数は157ページ(5年)、153ページ(6年)となっている。</p> | <p>○内容の構成は、以下のように工夫がされている。</p> <p>5年～外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近な物を映画で言ったりするなどの内容を踏まえ、持っているものやできることをたずねて自己紹介したり、友達や家族の紹介をするなどの活動をした後に、先生にインタビューをして先生を紹介する内容など</p> <p>6年～第5学年において学習した内容を絵や写真を用いて説明したり、アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ、学校を紹介したり夏休みにしたことやものの様子や特徴を説明したりするなどの活動をした後で、小学校での思い出を紹介する内容など</p> <p>○HOP、STEP、JUMPで1ユニットが組まれており、この教科書では5年・6年とも3ユニット。総ページ数も128ページとなっている。</p> | | | | | |
| 使用上の配慮等 | <p>○各レッスンに扉があり、何を学ぶのか、どのように学びを進めるのかを掲載し、学びの見通しがかかるよう示されている。</p> <p>○アルファベットの読み書き学習が10回設けられ、読みを中心に定着するように配慮されている。</p> <p>○文字の読みを、音と綴りで繰り返し練習して練習できるよう構成されている。</p> | <p>○「Sound chant」や「Word chant」を取り上げたり(全学年)、「Talk to Friends」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたり(全学年)するなど、児童が主体的に取り組むことが出来るような工夫がなされている。</p> <p>○巻末に「CAN-DOリスト」を設けたり、「Words & phrases」を設けたりするなど、児童が主体的に取り組むことができる工夫がされている。</p> <p>○全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)している。</p> | | | | | |
| その他 | <p>○小単元最後のアクティビティは、1つを15分とし、短時間学習にも対応している。</p> | <p>○巻末にローマ字表やアルファベットカード(5年)、2つのプレゼンテーションカードが用意(6年)されており、担任の準備が軽力少なくて済む配慮がされている。</p> | | | | | |

様式2

| 教科名 | | 外国語 | | 教科名 | | 外国語 | |
|-------------|---|--|--------|-------------|----|--------|-------------|
| 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 |
| 教育出版 | One WORLD Smiles | 5 | 光村図書出版 | Here we go! | 6 | 光村図書出版 | Here we go! |
| 取扱内容 | <p>○「聞くこと」については、身近で簡単な事柄について外国語とイラストを結び付けたり、必要な情報を得たりする活動を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「読むこと」については、活字体で書かれた文字を見て、大文字・小文字、何という文字かを識別する活動(5年)から、簡単な語句や表現を識別する活動(6年)へ、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。また、紙面に掲載する文字量を抑えたり、他教科で学習した教材や内容を盛り込んだりするなど、児童の負担に配慮している。</p> <p>○「話すこと[やりとり]」については、身近で簡単な事柄について、相手に応じたり短い会話をしたりする活動を通して、目標を達成できるようにしている。やりとりを通して、自分との共通点や違い、友達の良い点に気づきながら、自尊感情を高めることや他者理解へつながるよう工夫されている。</p> <p>○「話すこと[発表]」については、日常生活に関する事柄やそれに対する自分の考えや気持ちなどを話す活動を通して、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「書くこと」については、発音された文字の読み方を聞いて大文字・小文字を書いたり(5年)、選択肢の中から言葉を選んで書いたり(6年)など、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、学習課題を設定し見直しをもたせ、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりできるように設定されている。</p> | <p>○「聞くこと」については、身近で簡単な事柄について、外国語とイラストを結び付けたり、必要な情報を得たりする活動を通じて、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「読むこと」については、活字体で書かれた文字を見て、大文字・小文字、何と言う文字かを識別する活動(5年)から、簡単な語句や表現を識別する活動(6年)へ、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。児童が自信をもって読み書きの学習を始められるよう、文字の学習を丁寧に扱っている。</p> <p>○「話すこと[やりとり]」については、好きなものや入りたい部活動をたずねるなど、相手に応じたり短い会話をしたりする活動を通して、目標を達成できるようにしている。また、チャンツを各ユニットで用意し、ネイティブスピーカーのようなリズムや発音が身に付くようになっている。</p> <p>○「話すこと[発表]」については、日常生活に関する事柄やそれに対する自分の考えや気持ちなどを話す活動を通して、目標を達成できるようにしている。</p> <p>○「書くこと」については、発音された文字の読み方を聞いて大文字・小文字を書いたり(5年)、選択肢の中から言葉を選んで書いたり(6年)など、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習については、学習課題を設定し見直しをもたせ、ペアやグループで課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりできるように設定されている。</p> <p>○6年の最後に「学びのパスポート」を用意し、自身の成長を振り返るとともに中学校の活動に生かせるようにしている。</p> | | | | | |
| 内容構成・配列・分量等 | <p>○内容の構成については、前学年までの復習から始まり、受信から徐々に発信へとつながる活動を設定している。</p> <p>○内容の配列については、身近なものや自分の町や夏休みの思い出について伝え合ったりする活動の後に、ロールプレイや発表活動を扱うなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○内容の分量については、5年が9ユニット・118ページ、6年が9ユニット・112ページとなっている。各パートの配当時数もバランスよく設定されている。</p> | <p>○内容の構成については、各ステップを1つの見開きで統一し、聞く→話す→読む→書く活動へと無理のないスモールステップで進むよう工夫がなされている。</p> <p>○内容の配列については、前学年までの学習で慣れ親しんだ表現に繰り返し出会うように工夫されている。重要な表現についてはスパイラル的に使用場面を変えて何度も出会うことで、定着を図れるようになっている。</p> <p>○内容の分量については、5年が9ユニット・140ページ、6年が9ユニット144ページとなっている。各パートの配当時数もバランスよく設定されている。</p> | | | | | |
| 使用上の配慮等 | <p>○歌を歌ったり、実際にコミュニケーションを図る機会を設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○児童が学習の見直しをもって学べるよう、目標を明示している。必然性のある課題設定とふりかえり表を通して、主体的な学びを表現できる工夫がなされている。</p> <p>○読みやすいフォントを使用したり、識別しやすい配色を用いたりするなど、全ての児童にとってわかりやすくなるよう使用上の便宜が図られている。</p> | <p>○チャンツや歌を取り上げたり、ペアやグループ活動などのコミュニケーションを図る場面を設けたりするなどして、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○児童が学習の見直しをもって学べるよう、教科書の冒頭に「CAN-DO」、Lesson の最後に「ふりかえろう」を設け、児童が主体的に取り組むような工夫がなされている。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、分かりやすい教科書にするため、アルファベットの独自のフォントを開発したり、当該学年の漢字には全て振り仮名をつけたりしている。</p> | | | | | |
| その他 | <p>○「やってみよう」というしかけとして、シールを使って友達のメニューを作成する活動や、達成感をもたせ表現意欲を高めるためのワークシートが用意されている。</p> | <p>○教材や登場人物に、性別による偏りがないよう、また、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用いている。</p> | | | | | |

様式2

| 教科名 | | 外国語 | | | | | |
|-------------|--|-----|------|------|----|--|--|
| 出版社名 | 教科書名 | 番号 | 出版社名 | 教科書名 | 番号 | | |
| 啓林館 | Blue Sky elementary | 7 | | | | | |
| 取扱内容 | <p>○「聞くこと」については、誕生日や欲しいものなど、身近で簡単な事柄について、それらを表すイラスト等と結びつける活動(5年)、中学校の行事や学校生活など、身近で簡単な事柄について、必要な情報を得る活動(6年)が取り上げられている。</p> <p>○「読むこと」については、活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるか、その文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動(5年)、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、円グラフなどの中から識別する活動(6年)が取り上げられている。</p> <p>○「話すこと(やりとり)」については、友達の誕生日をたずねたり、相手に指示をして道を案内し、それに応じたりする活動(5年)、将来つきたい職業をたずねたり、やってみたい部活動をたずねたりして、短い会話をする活動(6年)が取り上げられている。</p> <p>○「話すこと(発表)」については、自分の名前や好きなものなど、日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動(5年)、将来の夢や中学校でやってみたいことに関する事柄など、身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話す活動(6年)が取り上げられている。</p> <p>○「書くこと」については、文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を書く活動(5年)、中学校でやってみたいことなどについて、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動(6年)が取り上げられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、5年のUnit7において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、店の場所を伝えたり、友達の家までの道案内をしたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動、6年 Unit6 において、学習課題を設定したり、見通しをもたせるとともに、思い出の学校行事ランキングを作成したり、学校行事でしたことを書いたりするなど、ペアやグループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p> <p>○Unit 末の Did you know?では、異文化や他教科に関連する題材などを取り上げて、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮がなされている。各学期末の REVIEWでは、場面や状況を考え、判断(思考)する問題がある。</p> | | | | | | |
| 内容構成・配列・分量等 | <p>○5年において外国語活動において学習した挨拶や、身近なものを英語で言う内容を踏まえ、友達の好きな教科をたずねたり、自分の行きたい国に友達を誘ったりするなどの活動をした後に、自分の食べてみたいオリジナルランチを考えて発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。6年において既習事項を絵や写真を用いて説明したり、アクティビティに挑戦したりする内容を踏まえ、自分の好きなものを伝えたり、自分が住む都道府県を紹介したりするなどの活動をした後に、自分の住む地域のよさなどを発表する内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○内容の分量については、次のようになっている。 5年～総Unitは9Unit、総ページ数は136ページ。(判型は他社より小さい) 6年～総Unitは9Unit、総ページ数は136ページ。(判型は他社より小さい)</p> | | | | | | |
| 使用上の配慮等 | <p>○「Jingle」や「Chant」を取り上げたり、「Activity」等のペアやグループ活動による実際にコミュニケーションを図る機会を設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○Lessonの冒頭に「GOAL」を設けたり、Lessonの最後に「Looking Back」を設けたりするなど、児童が主体的に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、識別しやすい配色を用いたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p> <p>○4技能5領域の内容をマークで表示し、身につける知識・技能を明確にしている。</p> | | | | | | |
| その他 | <p>○Unit末に学習事項を確認し、自己評価できるコーナーが設けられている。</p> <p>○紙面に適宜QRコード・URLを掲載して、家庭でも音声を使って学習ができるように配慮されている。</p> | | | | | | |